

平成26年度 第1回習志野市障がい者地域共生協議会会議録

日時 平成26年4月22日(火)
午後2時から3時40分
場所 サンロード6階 大会議室

出席者 委員27名 事務局5名 その他市職員2名

(委員)

福田委員・渡辺委員・中村委員・松井委員・豊嶋委員・森田委員
八尋委員・中神委員・内村委員・石井委員・松尾委員・武井委員
平委員・山田委員・内海委員・梅田委員・臼田委員・窪田委員
武石委員・畠山委員・八田委員・長尾委員・内山委員・館澤委員
米山委員・岩田委員・北田委員

(事務局)

東課長・家弓主幹・篠塚係長・太刀岡主事・鈴木主任主事

(その他市職員)

眞殿保健福祉部長・松岡次長

欠席者 委員3名

喜田委員・高橋委員・奥井委員

全体会の議題に先立ち、配布資料の確認並びに会長及び副会長の選出が行われた。
会長は松尾委員、副会長は福田委員に決定した。

議題1. 平成26年度協議会活動について

(事務局)

資料1 習志野市障がい者地域共生協議会の体制(案)について

本協議会は、障がい者基本計画及び障がい福祉計画の基本目標「誰もが互いに人格と個性を尊重し、支え合い、地域でありのままに暮らすことのできる社会」を推進するための機関で、3つの会議で構成されている。

- ① 全体会 委員全員が出席し年4回開催。協議会としての意思決定を行う。意見交換、障がい福祉施策への各種提案などの協議を行う会議である。
- ② 運営会議 協議会の会長、副会長、各専門部会の部会長が参加。協議会の全体会、専門部会の進行を把握し、協議会の方向性や具体的な推進方法について協議する、いわば協議会の「エンジン」となる会議である。
- ③ 専門部会 専門性に基づく調査、研究、協議を行う会議。全委員がいずれかの専門部会に所属する。
 - (1) 相談支援部会 障がい者の相談支援体制のあり方に関する協議及び支援困難な事例を検討する支援会議を行う。
 - (2) 児童部会 障がい児への支援体制充実のため、関係機関への働きかけと連携強化に関する協議及び活動を行う。

- (3)就労支援部会 広報紙「ならたく」の定期発行、障がい者優先調達推進法の促進など、障がい者の雇用促進に向けた協議及び活動を行う。
 - (4)権利擁護・広報啓発部会 成年後見制度や障がい者虐待防止に関する現状把握、障がいや障がいのある人についての広報啓発の企画について協議及び活動を行う。
 - (5)社会資源開発・改善部会 市内の社会資源の把握と、新たな資源の検討、今ある資源の調整に関する協議と、障がい者基本計画及び障がい福祉計画の推進に関する協議を行う。
- ④ 事務局 障がい福祉課の職員及び委託の相談支援事業所2者の職員が協議会の庶務として参加する。

資料2 協議会の活動経過について

- ・障害者自立支援協議会として、平成20年に発足し6年が経過した。平成20年度からの第1期は、関係機関同士で互いの役割を知ること、連携することが中心だった。資源マップに取り組んだ。
- ・平成23年度からの第2期は、3つの専門部会と運営会議を発足した。相談支援部会による相談支援事業所連絡会、相談支援児童部会によるふれあい展示会、就労支援部会による就労に関するアンケートの実施、広報紙「ならたく」の発行。この他ワーキングチーム、支援会議による活動も行い協議会活動が広がってきた。第2期の協議結果をまとめた提言書が平成26年3月27日に市長に提出された。

資料3 平成26年度の活動日程表(案)について

- ・全体会、運営会議の日程について確認していただきたい。専門部会の日程は各専門部会で話し合って決めていただきたい。
- ・第4回の全体会の日程が3月17日(火)に変更になった。

(松尾会長)

- ・説明について、質問、意見はあるか。

なし。

◆◆承認◆◆

議題2. 部会長・副部会長の選出

(事務局)

資料4 部会構成委員(案)について

専門部会は昨年度まで3部会であったが、今年度から5部会になる。専門部会の構成委員については地域共生協議会の推薦依頼の際、希望の部会についても併せてご提出いただき、それを基に事務局で素案を作成した。委員と事務局を発表する。

相談支援部会： 福田委員 渡辺委員 喜田委員 中村委員 (以上4名) 事務局 橋詰

児童部会 : 松井委員 豊嶋委員 森田委員 八尋委員 高橋委員 奥井委員 中神委員
内村委員 (以上8名) 事務局 浅倉

就労支援部会： 石井委員 松尾委員 武井委員 平委員 山田委員 内海委員 梅田委員

白田委員 (以上8名) 事務局 太刀岡

権利擁護・広報啓発部会：窪田委員 武石委員 畠山委員 八田委員 長尾委員 (以上5名)
事務局 鈴木

社会資源開発・改善部会：内山委員 舘澤委員 米山委員 岩田委員 北田委員 (以上5名)
事務局 平川

変更等があれば調整をお願いしたい。

(松尾会長)

- ・必ずしも希望に沿っていないと聞いている。希望があればご意見等いただきたい。

特になし

(松尾会長)

- ・それぞれ他の部会に対してもご協力をお願いしたい。

異論なし

◆◆承認◆◆

(八田委員)

- ・資料1の体制について、基本目標を掲げここに向けて各会議が存在することになっているが、これまでやってきた実感として、基本目標のようににはできないのではないか。唱えているだけではいけない。大きな目標を掲げることより、もっと習志野市自体の問題に目を向けるべきだと思う。習志野市は住みにくい街だと思う。障がい者の息子がいて毎日大変。大きな目標唱えているだけではできないと思う。ありのままに暮らすとあるが、できないのではないか。

(松尾会長)

- ・唱えるだけではなく、変わったなと思われるように協議会自体頑張っていきたい。八田委員には、障がい者をもつ親御さんという立場としても、今後も貴重なご意見を是非あげていただきたい。

(事務局)

- ・各部会に分かれ部会長及び副部会長の選出と専門部会の次の開催日程を決めていただきたい。部会長は運営会議にも参加いただくのでよろしくをお願いしたい。

～各部会に分かれての話し合い～

(松尾会長)

- ・各部の部会長、副部会長及び次回の日程について報告をお願いする。

相談支援部会

(福田部会長)

- ・少人数であるが、部会は色々な方を招きながら話し合えるとのことなので、相談支援部会は計画相談支援事業所を招きながら部会を進めていこうと考えている。

- ・ 部会長は福田委員、副会長はなかまねっとの渡辺委員。第1回の部会は5月27日（火）。社会資源開発・改善部会とコラボしながら活動する予定である。

児童部会

(松井部会長)

- ・ 部会長はNPO法人じょいんとの松井委員、副部会長はまめの木の森田委員。第1回の部会は5月21日15時から17時。場所はあじさい療育支援センター。協議内容は後日メールで送信する。

就労支援部会

(武井部会長)

- ・ 部会長はNPO法人1to1の武井委員、副部会長はいしいさん家の石井委員。部会は原則毎月第2火曜日の14時から16時。5月のみ、5月8日(木)の14時からとする。

権利擁護・広報啓発部会

(畠山部会長)

- ・ 部会長は花の実園の畠山委員。副部会長は社会福祉協議会の長尾委員。部会長は初めてなので教えてもらいながら進めていきたい。部会の日程は、毎月第2火曜日の10時から12時。日程変更があった場合はその都度お知らせする。

社会資源開発・改善部会

(内山部会長)

- ・ 部会長は内山委員、副部会長は舘澤委員。第1回の部会は5月27日（火）の10時半から。
- ・ 他の部会の皆さんへお願いがある。他の部会で社会資源に関わる議題が出てきたときは、ご連絡をいただき、当部会員が参加させていただきながら情報を集め、部会に持ち帰って話しを進めていきたいと考えている。是非、他の部会と連携を取っていきたいと考えている。

(事務局)

- ・ 6年間ご尽力いただいた八田会長に一言ご挨拶いただきたい。

(八田元会長)

- ・ 皆様のご協力でなんとか過ごしてこられました。ありがとうございます。

習志野市地域福祉計画について

(眞殿部長)

昨年度地域福祉計画の策定を進めてきた。地域福祉計画は本市の地域福祉の今後の方向性、理念を内外に対し明らかにすると共に、実現に向けて、市民、行政、事業者、活動団体、社会福祉協議会、の役割分担を明確にした計画である。障がい者基本計画、障がい福祉計画の上位に位置する計画である。理念は、「すべての市民が、地域の一員として互いに支え合う、包容力とやさしさのあるまち」である。これまで明確でなかった本市の地域福祉の方向性、理念を明確にし、本市の市民誰もが、地域で自らの存在を認め合い、支え合い共に暮らしていく事ができる社会（ソーシャルインクルージョンの社会）を目指していくというもの。この内容がお題目にならないように、それぞれの立場で、役割分担をしながらこの社会を目指していきたいと考えている。皆さまにもご協力お

願いたい。

次回について

(事務局)

第2回習志野市障がい者地域共生協議会 全体会

日時：8月26日（火）午後2時から4時

場所：サンロード6階特別会議室

その他：5月の運営会議は5月15日（木）午後1時30分よりサンロード6階特別会議室で予定している。本日選出された会長・副会長・部会長の運営会議委員の皆様には後日御案内をお送りさせていただく。なお、部会長が御出席できない場合は副部会長が御出席いただくようご協力をお願いする。

その他

(松尾会長)

習志野市障がい者自立支援協議会の提言書については、25年度末に当時の八田会長、松尾副会長、各部会長で市長の下に赴き、この各部会から出された提言についてお話させていただいた。提言書は市長のみならず、庁舎内各部でもしっかり目を通していただき、なにかしらの形でのフィードバックをしていただくということをお願いした。今年度何かしらの形でのフィードバックがあると信じている。提言書を出したら終わりではなく、各部会共々提言の内容をもっと深く追求していきけるような活動につなげていけるようにと思っている。今後ともよろしく願いたい。

開会の言葉

(松尾会長)

閉会の言葉